

# いちよだより



三月は卒業を迎え、修了まとめの時期と新年度の準備の時期に入ります。

今年度を振り返って、ごあいさつ申しあげます。

## 「養護学校」から「支援学校」へ

藤 校長

うらかな春を迎えるこの時期、令和四年度もいよいよ総仕上げ、そして終わりの時期となりました。今年度も新型コロナウイルス感染症への対応が大きな課題でありまた力を注ぐところでもありましたが、その中でもインクルーシブ教育を進めるうえで、またインクルーシブな社会を作り上げていくうえで大切にしている、地域の学校との交流や地域での教育活動について、活動数や内容とも一歩進めることができましたかと思えます。コロナ以前の活動も振り返りつつ、地域の皆さん他関係の皆さんと、新たな時代として目的をもって進めていきたいと思えますので、本校の教育活動にご協力をお願いするとともにいろいろなところで「えがお」や「あいさつ」で交流し、

ふれあっていたいと思っています。よろしくお願ひします。

さて、保土ヶ谷養護学校は、昭和五十一年（西暦1976年）一月に権太坂の地に設置され、そろそろ半世紀を迎えようとしています。その名称ですが、昨年の九月の県議会にて県の条例が改正され、令和五年四月一日より、「保土ヶ谷支援学校」という名称の県立特別支援学校は、すべて「〇〇支援学校」という名称に変更することとなりました。その結果、この四月一日より「保土ヶ谷支援学校」という名称になります。慣れるのに少し時間がかかるかもしれませんが、四月を迎える新入生を含め教職員一同新たな気持ちで教育活動に取り組んでいきます。引き続きご支援ご協力よろしくお願ひします。

## 一年を振り返って

川島 副校長

桜満開の坂道を下りながら「保土ヶ谷に戻ってきた！」と思った時から、もう一年になるうとしています。早いですね。四月のご挨拶でも書かせていた

神奈川県立保土ヶ谷養護学校  
学校 便り 第三十四号  
◆住所 横浜市保土ヶ谷区権太坂一八八一  
◆電話 〇四五(七一四)〇二二六  
◆令和五年三月九日 発行

だきました。保土ヶ谷養護は自然豊かな学校であり、四季折々の楽しみがあります。前回（三十三号）のいちよだよりも紹介されていましたが、私も体育館脇にあるいちよだの色づきを、二階の渡り廊下から見ていました。葉が落ち、地面一体が黄色い絨毯になった時は、また感動がありました。



感染症防止対策でなかなか実施できなかった学校行事も、少しずつ校外での活動ができるようになりました。学習発表会も開催することができました。そして、学校間交流や地域の方々との交流も再開したり、工夫して新たな交流が始まった学部もあつたり：嬉しい限りです。次年度も交流・地域貢献で「何ができるか」を考え、実行に移していけたらと思っております。

そして、三月は一年のまとめの時期であり、旅立ちの時：今年には八十名の児童生徒が卒業します。新たな学部、そして社会に一步を踏み出します。新しい環境でも自分らしく、笑顔で、日々楽しく過ごしてほしいと願っています。フレ〜！フレ〜！

今、校舎前の花壇には、菜の花が咲いています・・・春ですね。



## 地域交流 今年度を振り返って

望月 教頭

今年度も新型コロナウイルス感染症は終息せず、学校生活にもまだ影響がありました。その中で、感染予防対策を取りながら、方法を工夫し、少しずつ活動の幅を広げていきました。

地域との交流では各学部・分教室で積極的な活動を展開しました。小学部は権太坂小三年生と、中学部は境木中支援級と本校の体育館で直接交流を実施しました。高等部は、職業班報告会という新しい形でのバザーを実施、保護者の方々や三つの事業所の参加がありました。分教室では、舞岡高校、横浜平沼高校と様々な形での交流を数多く行いました。

舞岡分教室では、舞岡高校の体育祭に1日参加しました。四種目の競技で、舞岡高校の生徒と熱戦を繰り広げました。また、桔梗祭（舞岡高校文化祭）では、ポッチャを主催し、両校の保護者、舞岡高校の生徒・教員を対戦相手に誘い、熱戦、接戦で、大変盛り上がりました。また、同時にポッチャの競技の楽しさも伝えることができました。

今年度の地域交流では、児童生徒が役割を持って、主体的に活動している姿が、各学部・分教室で見られました。新しい形での取組みをアップデートし、新しい可能性を追求して、来年度も取組んでいきたいと思っております。どうぞよろしく願います。

## 広大な敷地を活用した取り組み

小倉 教頭

本校の学校運営協議会の中に学校設置部会の一つに農園活用部会があります。農園活用について地域の方々のご意見を伺いながら効率的な活用方法を考えています。校内では遊び場チームと農園チームに分かれて活動しています。農園チームは横浜市資源循環局や近所の八百屋さんの助言を受けた土づくりをしています。遊び場チームは横浜市スポーツ協会の協力のもと滑り台の設置をしました。どちらのチームも今年度は「プロセスから地域とかわる」活動をしてきました。小学部が利用する滑り台づくりでは、高等部の生徒が商店街にダンボールをもらいに行きました。自己紹介や使用目的を店主に伝えてダンボールをいただきました。リヤカーにダンボールを積みながら自然と会話が広がり地域の方々との交流の時間を持つことができました。これまでは学習の成果や結果を基に取り組みを見学していただいたり、ともに活動することを中心に考えていましたが、プロセスからかわることをメインに考えたことでより身近に、より自然な地域とかわるわりを持つことができました。今後も地域とプロセスからかわる取り組みを継続して展開していきたいと思えます。職員一同の協力と地域の方々からのご支援を受けて教育活動を進めていきたいと思えます。ご協力をどうぞよろしく願います。

### ホームページもご覧ください！

学校ホームページでは、「いちようだより」でお伝えしきれない情報も多数掲載しております。

URL:

<https://www.pen-kanagawa.edu.jp/hodogaya-sh/>

## ☆4月から校名が変わります☆

4月から校名が「神奈川県立保土ヶ谷支援学校」に変わります。それに伴い、雨にも負けず、風にも負けず、47年間児童生徒の笑顔を見守ってきた校門の「校名板」も新しくなります。

47年間ありがとう！

